

## 第9回 外国人技能実習生等受入適正化推進会議

平成27年1月21日、「第9回技能実習生等受入適正化推進会議」がホテルグランヴェール岐山で開催されました。

この会議は、岐阜労働局が主催し、平成18年から毎年開催しており、会議には名古屋入国管理局、国際研修協力機構、岐阜県、岐阜県警察本部、関係市などが参加（22機関：34名）し、入管法・労働関係法令の遵守など外国人技能実習制度の適正な受入に向けた取組を行っています。



会議は初山座長（朝日大学大学院教授）により進行されました。

佐々木労働局長からの挨拶の後、名古屋入管からの今後の取組方針等を中心に各機関からの取組状況報告がありました。

岐阜労働局からは、平成26年の県内の受入事業場に対する監督指導結果について報告し、「違反率は84.5%と過去最高の水準で、改善の傾向は認められない。悪質な隠蔽行為も2割を超えている。司法処分を含めた厳正な態度で臨む。」と説明したほか、受入事業場に対する監督指導状況について動画を上映し、立入調査時の監督官への虚偽の説明などの実態報告や摘発状況等について説明しました。

また、外国人技能実習生に係る人権侵害が社会問題化していることに関連し、罰金などの不当な契約内容などを紹介、これらの事案の排除が必要であると訴えました。

最後に、岐阜労働局から、要請文を送付する提案が行われ、了承されました。

